

# 平成23年1月期 決算説明

# Crymson

平成23年3月25日



# 本決算のポイント

**\* 連結業績は、売上高4,911百万円 営業利益▲362百万円 経常利益▲296百万円 当期純利益▲329百万円となりました。**

- ・当社は平成23年1月期 第2四半期会計期間までは非連結決算を行なっておりましたが、平成21年8月28日付で当社100%出資子会社として中国に設立しました可麗美(北京)国際貿易有限公司が、立ち上げ期を脱し資産等の状況に重要性が増したため第3四半期末より連結決算開示となりました。

**\* 単体業績は、売上高4,818百万円 営業利益▲360百万円 経常利益▲301百万円 当期純利益▲333百万円となりました。**

- ・当事業年度においては、事業の選択と集中による収益性の改善に努め業績の回復を図ってまいりました。しかしながら市場における低価格志向が一層強まり、販売単価の下落が売上高及び売上総利益の減少に影響し、不採算店舗の閉鎖や物流センターの圧縮などによる諸経費の削減ではカバーすることが出来ませんでした。

# 損益計算書（連結）

（単位：百万円 %）

	平成23年1月期				
	クリムゾン	可麗美北京	連結調整	合計	構成比
売上高	4,818	93	0	4,911	
売上原価	2,774	43	0	2,818	57.4
売上総利益	2,043	49	0	2,093	42.6
販売費及び 一般管理費	2,404	51	0	2,455	50.0
営業利益	▲360	▲1	0	▲362	▲7.4
営業外収益・費用	58	0	6	65	1.3
経常利益	▲301	▲1	6	▲296	▲6.0
特別利益・損失	▲48	▲1	0	▲49	▲1.0
法人税等	▲16	0	0	▲17	▲0.4
当期純利益	▲333	▲2	6	▲329	▲6.7

- ・連結対象会社：連結子会社1社、持分法適用関連会社1社
- ・可麗美(北京)国際貿易有限公司は第4四半期のみ連結
- ・前事業は非連結決算のため前期比較はいたしていません。

# 貸借対照表 (連結)

(単位:百万円 %)

I : 流動資産	平成23年1月期				
	クリムゾン	可麗美北京	連結調整	合計	構成比
現金・預金	88	10	0	99	4.7
売上債権	782	40	0	823	38.8
たな卸資産	242	21	0	263	12.4
その他	171	3	0	174	8.2
<b>II : 固定資産</b>					
有形固定資産	272	0	0	272	12.8
無形固定資産	108	0	0	108	5.1
投資その他の資産	350	0	25	376	17.7
<b>資産合計</b>	<b>2,017</b>	<b>77</b>	<b>24</b>	<b>2,119</b>	<b>100.0</b>
I : 流動負債	1,715	64	0	1,780	84.0
II : 固定負債	121	0	0	121	5.7
III : 純資産	180	12	24	216	10.2
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>2,017</b>	<b>77</b>	<b>24</b>	<b>2,119</b>	

・前事業は非連結決算のため前期比較はいたしておりません。

# 損益計算書（個別）

（単位：百万円 %）

	平成23年1月期				平成22年1月期	
	金額	構成比	前年同期差異	増減率	金額	構成比
<b>売上高</b>	<b>4,818</b>		<b>▲2,597</b>	<b>▲35.0</b>	<b>7,415</b>	
売上原価	2,774	57.6	▲1,217	▲30.5	3,991	53.8
売上総利益	2,043	42.4	▲1,379	▲40.3	3,423	46.2
販売費及び 一般管理費	2,404	49.9	▲1,560	▲39.4	3,964	53.5
<b>営業利益</b>	<b>▲360</b>	<b>-7.5</b>	<b>180</b>	<b>-</b>	<b>▲540</b>	<b>-7.3</b>
営業外収益・費用	58	1.2	32	124.5	26	0.4
<b>経常利益</b>	<b>▲301</b>	<b>-6.3</b>	<b>213</b>	<b>-</b>	<b>▲514</b>	<b>-6.9</b>
特別利益・損失	▲48	-1.0	394	-	▲442	-6.0
法人税等	▲16	-0.3	50	-	▲66	-0.9
<b>当期純利益</b>	<b>▲333</b>	<b>-6.9</b>	<b>556</b>	<b>-</b>	<b>▲889</b>	<b>-12.0</b>

- ・売上高及び売上総利益  
市場における低価格志向の強まりによる販売単価の下落が売上高及び売上総利益の減少に影響
- ・販売及び一般管理費  
不採算店舗の閉鎖や物流センターの圧縮等による諸経費の削減
- ・特別損失の発生  
非連結子会社への貸付金に対する貸倒引当金の発生

# セグメント別売上高（個別）

(単位:百万円 %)

		平成23年1月期				平成22年1月期	
		金額	構成比	差異	増減率	金額	構成比
売上高	卸事業	3,161	65.6	▲1,837	▲36.8	4,999	67.4
	小売事業	1,238	25.7	▲508	▲29.1	1,747	23.6
	ライセンス事業	418	8.7	▲190	▲31.3	608	8.2
	その他	0	0.0	▲60	▲100.0	60	0.8
	合計	4,818		▲2,597	▲35.0	7,415	

・卸事業

市場における低価格志向の強まりによる販売単価の下落及び、天候不順による販売数量の減少

・小売事業

不採算店舗の撤退 通期29店舗の閉鎖(上半期11店舗 下半期18店舗) 期末店舗数7店舗

・ライセンス事業

大手GMS、専門店の商品開発によるPB化が拡大。シェアの低下(特に生活雑貨アイテムが苦戦)

# 販管費対売上高構成（個別）

(単位:百万円 %)

	平成23年1月期				平成22年1月期		
	金額	構成比	差異	増減率	金額	構成比	
売上高	4,818				7,415		
販 管 費	人件費	874	18.1	▲377	▲30.1	1,251	16.9
	広告宣伝費	178	3.7	▲434	▲70.9	613	8.3
	その他経費	1,351	28.0	▲747	▲35.6	2,099	28.3
合計	2,404	49.9	▲1,560	▲39.3	3,964	53.5	

- ・人件費  
不採算店舗の閉鎖に伴い人員の削減
- ・広告宣伝費  
『RUSS-K』ブランドに集中。得意先店頭販促物(ポスター・フリーペーパー等)を中心に展開
- ・その他経費  
物流関連費用の抑制と店舗閉鎖に伴う家賃関連費用の減少等

# 貸借対照表 (個別)

(単位:百万円 %)

I : 流動資産	平成23年1月				前事業年度末	
	金額	構成比	差異	増減率	金額	構成比
現金・預金	88	4.4	▲122	▲57.8	211	5.8
売上債権	782	38.8	▲417	▲34.7	1,198	32.8
たな卸資産	242	12.0	▲223	▲47.9	466	12.7
その他	171	8.5	▲86	▲33.4	257	7.0
<b>II : 固定資産</b>						
有形固定資産	272	13.5	▲13	▲4.8	286	7.8
無形固定資産	108	5.4	▲45	▲29.6	154	4.2
投資その他の資産	350	17.4	▲730	▲67.5	1,081	29.6
<b>資産合計</b>	<b>2,017</b>		<b>▲1,639</b>	<b>▲44.8</b>	<b>3,657</b>	<b>100.0</b>
I : 流動負債	1,715	85.0	▲1,118	▲39.4	2,834	77.5
II : 固定負債	121	6.0	▲182	▲60.0	304	8.3
III : 純資産	180	8.9	▲338	▲65.2	518	14.2
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>2,017</b>		<b>▲1,639</b>	<b>▲44.8</b>	<b>3,657</b>	

## ・資産の部

流動資産: 売上高減少に伴う売上債権である受取手形及び売掛金の減少。商品仕入調整を行なった事に伴い、たな卸資産が減少

固定資産: 店舗閉鎖等に伴う敷金及び保証金の減少

## ・負債及び純資産の部

流動負債: 商品仕入調整を行なった事に伴う仕入債務である支払手形及び買掛金の減少。

固定負債: 長期借入金の返済

純資産 : 純損失の計上など



平成24年1月期  
業績見通し

Crymson

# 平成24年1月期通期業績見通し（連結）

（単位：百万円 %）

	平成24年1月期				平成23年1月期	
	金額	構成比	差異	増減率	金額	構成比
売上高	3,250		▲1,661	▲33.8	4,911	
売上原価	1,847	56.8	▲971	▲34.4	2,818	57.4
売上総利益	1,403	43.1	▲690	▲32.9	2,093	42.6
販売費及び 一般管理費	1,208	37.1	▲1,247	▲50.8	2,455	50.0
営業利益	195	6.0	557	—	▲362	▲7.4
経常利益	155	4.7	451	—	▲296	▲6.0
当期純利益	105	3.2	434	—	▲329	▲6.7



# 今期施策①

---

## (1) 既存ビジネスの進化

主軸である卸売事業の再強化

- ・営業と企画組織を一体化させ商品提案力の強化
- ・主力得意先別のブランド展開と商品提案  
(ブランドポートフォリオの見直し)

## (2) 新たなビジネスモデルの構築

ライセンス事業におけるサブライセンシー各社との協業

- ・ブランドの立ち上げ、育成を行ないブランド認知度とロイヤリティーを高める
- ・大手得意先に対して共通ブランドによるカテゴリーやアイテム展開による  
売り場でのコーナー展開の確保



## 今期施策②

---

### (3) 事業領域・市場の拡大

中国での小売事業の拡大

- ・既存ブランドでの展開アイテムの拡大。日本の企画情報に基づいた中国MDによる商品展開力の向上
- ・展開ブランドの取り扱いの拡大(現在検討中)

### (4) 既存インフラ(生産・物流)の再整備

中国物流のインフラを活用したサブライセンシーの商品生産

- ・卸得意先のOEM生産の新規事業
- ・中国物流からの直接貿易による物流コストの削減



# 本資料についての注意点

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## IR担当窓口

部署 経営企画室

氏名 吉川 利道

電話 03-5637-0505

FAX 03-5637-0530

E-mail [toshimichi\\_yoshikawa@crymson.co.jp](mailto:toshimichi_yoshikawa@crymson.co.jp)